

各位

上場会社名	株式会社 藤商事
代表者	代表取締役社長 松元 邦夫
(コード番号	6257)
問合せ先責任者	執行役員管理本部長 當仲 信秀
(TEL	06-6949-0323)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,200	7,600	7,600	4,600	18,477.23
今回修正予想(B)	46,000	6,000	6,000	2,800	11,247.01
増減額(B-A)	△3,200	△1,600	△1,600	△1,800	
増減率(%)	△6.5	△21.1	△21.1	△39.1	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	43,027	7,295	7,328	4,087	16,418.58

修正の理由

第3四半期累計期間におきましては、パチンコホールの厳しい経営環境を背景に、新機種の選定は、話題性が高く、集客力の維持・拡大が期待できる一部の有力機種に限られ、総じて1機種当たりの販売台数は減少する傾向が続いております。

当社におきましては、10月に「つくろプロデュースCR元祖ハロー！プロジェクト」シリーズが納品開始となり、11月に「CRオーメン」シリーズや第2四半期までに発売した機種の手軽に安く遊べるタイプを市場投入し、販売活動はおおむね順調に推移いたしました。

しかしながら、1月から納品の「CR龍玉八犬伝」シリーズにつきましては、市場からの十分な評価を得るまでには至らず、販売台数は低調に推移いたしました。

当第4四半期は、パチンコ、パチスロ遊技機ともに新機種を市場投入し、営業活動を積極的に推進してまいりますが、引き続き厳しい商戦が想定されます。

これらの要因により、通期のパチンコ遊技機の販売台数は計画台数151千台に対し、141千台(売上高は474億円から450億円に修正)、パチスロ遊技機の販売台数は、計画台数6千台を3千台(売上高は18億円から10億円)に修正いたします。

以上により、通期の業績予想を売上高460億円、営業利益60億円、経常利益60億円、当期純利益28億円にそれぞれ修正いたします。

※上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上